

# 保健師だよい

## 3月1日～8日は女性の健康週間です

厚生労働省では、毎年3月1日～8日を「女性の健康週間」と定め、女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすために、社会全体で総合的に支援していく国民運動を展開しています。今回は女性特有のがんである「子宮がん」についてお知らせします。

### 子宮がんは「子宮頸がん」と「子宮体がん」に分けられる

同じ子宮のがんでも、子宮頸がんと子宮体がんは原因やリスクファクター、性質が異なるため、がんの違いを正しく理解することが大切です。

#### 【子宮頸がん】

子宮の入口である頸部の上皮(表面の細胞)に発生するがんです。

- 原因 発がん性のあるヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が大きく関連しています。HPVは性交渉によって感染し、子宮頸がん患者の約60%からHPV16・18型が検出されています。
- リスクが高い人 性交渉の相手や妊娠・出産回数が多い人、喫煙者
- 予防方法

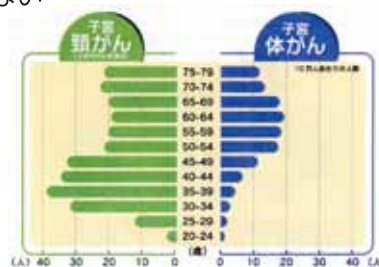
HPV16・18型の感染を予防する子宮頸がんワクチンの接種

※特に感染していない10代前半での接種が最も効果が高いと言われています。なお、HPV感染の経験がある人でもワクチン接種で新たな感染が予防できます。(ワクチンの接種だけでは完全に予防できないので、定期検診も受けましょう)

#### 【子宮体がん】

胎児を育てる子宮の内側にある子宮内膜から発生するがんです。

- 原因 ホルモン異常(月経不順や不妊症など)や食生活の欧米化による肥満、高血圧、糖尿病などが原因と考えられています。
- リスクが高い人 閉経した人、子宮内膜増殖症の人、月経異常がある人、妊娠・出産経験がない人、肥満・高血圧・糖尿病の人



子宮がんの年齢別罹患率

### 定期的に検診を受けましょう

子宮がんは、早期発見・早期治療によって、90%以上の確率で治すことができます。上のグラフを見ると、子宮頸がんは30～40代の若い年代での発生が多くなっています。「若いから大丈夫」「自覚症状がないから大丈夫」などと思わず、早期発見のために定期的に検診を受けましょう。小郡市では、20歳以上の女性を対象に2年に1回の検診を行っています。また、月経時以外の不正出血、いつもとおりものが違うなどの自覚症状がある場合は、必ず婦人科を受診しましょう。

●問合せ先 健康課健康推進係 ☎72-6666

### 愛の献血にご協力をお願いします ●問合せ先 健康課総務係 ☎72-6666内線123

#### ●日時・会場

期 日	受付時間	会 場
3月8日(金)	午前10時～正午 午後1時～4時	サニー小郡店(美鈴の杜 1-1-3 小郡高校南側)
3月12日(火)	午前9時30分～正午 午後1時～4時	市体育館(大板井279-1 三井消防署西側)
3月18日(月)	午前10時～正午 午後1時～4時	マルキョウ小郡店(小郡 646-3 小郡駐屯地東側)

#### 400ml献血の基準

- 年齢 男性17～64歳  
女性18～64歳
  - 体重 男女ともに50kg以上
  - 最高血圧 90mmHg以上
  - 献血間隔 男性12週間以上  
女性16週間以上
  - 年間回数 男性3回以内  
女性2回以内
- ※男性のみ献血可能年齢が「17歳」へ引き下げられました  
※60～64歳に献血をした人は、69歳まで献血できます  
※昨年の3月と11月に献血した女性は、年3回になるため、献血できない場合があります

※献血による副作用の危険性を軽減するために400mlをお願いしています

- 持参するもの 献血カード・手帳または運転免許証など
- 主催 小郡市献血推進協議会・小郡市
- 共催 小郡ライオンズクラブ・みい青年会議所

